

MRSA肺炎患者におけるバンコマイシン初期投与設計の有用性 (研究対象期間および研究実施期間の延長)

1. 研究の対象

2009年～2017年の間に佐世保中央病院において、医師がMRSA肺炎と診断された患者さんの中から、初期治療でバンコマイシンを投与された患者さん

2. 研究目的・方法

佐世保中央病院薬剤部では、2013年7月より、薬剤師による薬物血中濃度解析ソフトウェアを用いたバンコマイシンの初期投与設計の介入を実施しています。本研究では、MRSA肺炎患者において、薬剤師によるVCMの初期投与設計介入が有用であったかを検討します。

研究実施期間：倫理委員会承認日から 2019年12月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、体重、診断名、治療方法、治療経過、診察所見、検査結果（血液検査、画像検査、生理機能検査）、転帰等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(ただし、拒否の意向がある方の受付は、データ集計・解析の都合により、2018年3月31日までとさせていただきます。)

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院 薬剤部 岩村 直矢（研究責任者、薬剤師）
長崎県佐世保市大和町15番地 電話 0956-33-7151（内線1271）